事業所名　みらすくキッズたいよう

支援プログラム

作成日　7 年　3 月　28 日

法人（事業所）理念		つまづきのあるお子さまに沿った日常生活に必要とする一人一人が主役の個別・集団訓練を行い、お子さまの成長に責任を持って保護者様が安心できる効果的なサポートを行います。											
支援方針		・日常生活や集団生活に必要な知識・技術・自立に向けて本当に必要とする療育を行います。 ・お子さまが伸び伸びとリラックスできる環境を整え、障害の状態やニーズに応じた配慮を行い社会との交流の支援を目的としています。 ・体験や経験、成功体験のできる活動を取り入れできることを増やしていきます。また地域やご家庭、関係機関との連携に取り組んでいきます。											
営業時間		平日 祝日・長期休み	10 9	時	0 0	分から	18 17	時	0 0	分まで	送迎実施の有無	(あり)　なし	
		支　援　内　容											
本人支援	健康・生活	・毎朝の検温、体調観察を行いながら１人１人の健康状態を把握します。 ・手洗い、うがい、身だしなみ、健康的な生活リズムを身に着けるサポート。 ・活動や遊びに静と動を分けたメリハリある生活活動、おやつ作りを通し食育。											
	運動・感覚	・感覚の特性への対応、姿勢、基本的、応用的動作能力の向上 制作・バランスボール、跳び箱、鉄棒、サーキット、ビジョントレーニング、コーディネーショントランポリン、指先トレーニング、縄跳び、リトミックなど、屋外（公園）・お散歩など体力の向上を行います。											
	認知・行動	・視覚的、聴覚、触覚、感覚を活用し、認知機能の発達を促す支援 小集団での活動や遊びでのルールを習得支援。 日々の活動や学習課題、空間、時間、数など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化）											
	言語 コミュニケーション	・挨拶や、相手のお話を理解したり、自分の気持ちを伝えたりするなど人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得。 ・読み書きに対する学習支援 ・コミュニケーション手段の活用（SST/社会体験/ロールプレイ/絵カード）											
	人間関係 社会性	・お友達や、人との関わりを形成。理解と行動の調整をしながら、感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊び、役割のある遊びルールを守って遊ぶ共同遊び、支援員が間に入りながら集団遊びを通して、少しづつ社会性の発達を支援していきます。 ・イベントや他事業所との交流。施設へのお買い物学習や様々な人と触れ合い気持ちや情動の調整ができるよう支援します。											
家族支援		保護者様の困りごとや悩みごとの軽減や、その場での助言・個別面談・家族会・オンライン等、お子さまに関するご相談も随時受け付けています。必要な時は関係機関とも連携を取りながらサポートいたします。								移行支援	関係機関との連携、地域交流の機会を提供することで療育以外での集団参加、適応力を養います。小学校へ完全移動する場合、情報共有と安定した生活が送れるようサポートします		
地域支援・地域連携		情報共有や連携、調整。支援方法や環境の調整を相談援助に取り組んでいきます。相談支援事業所、併用先障害児通所支援事業所との連携、自治体との会議への参加を積極的に行っていきます。								職員の質の向上	定期的な療育会議、スタッフ会議、活動会議の実施。 スタッフの各種勉強会や研修への参加		
主な行事等		・初詣・節分・ひな祭り・進級式・夏祭り・プール遊び・敬老交流会・遠足・ハロウィン・クリスマス会・お誕生日会・保育参観・保護者会・避難訓練・おやつ作り・カレー作り・公共機関のバスを利用してお出かけ・お買い物学習・消防見学・モノレール乗車体験・色彩心理カラーセラピー・美化作業											